

# デマンド交通の運行と地域独自のポイントカードを結びつけた収益還元モデルの構築



## Profile

会社名（法人等名）、地方公共団体名等	江差町
所属部署名 氏名	まちづくり推進課まちづくり推進係 滝口 朝
出身地	室蘭市
専門分野	地域公共交通に関すること
所属部署での業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町交通施策に係る協議・総合調整に関すること</li> <li>●江差町地域公共交通計画の策定及び協議・調整に関すること</li> <li>●江差町地域公共交通活性化協議会の運営に関すること</li> <li>●江差マースの実装化に向けた実証事業に関する協議・調整に関すること</li> <li>●サツドラホールディングス株式会社との連携事業に関すること</li> <li>●公立はこだて未来大学との連携事業に関すること</li> </ul>
現職に至るまでの経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成28年4月～令和3年3月 北海道庁 胆振総合振興局（環境生活課・地域政策課）勤務</li> <li>●令和3年4月～ 江差町派遣（現職）</li> </ul>
担当として関わるきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●従来より公共交通事業の見直し・再編が喫緊の課題であった江差町への派遣がきっかけで、地方公共団体での策定が努力義務化された、地域公共交通計画の策定の一環として、既存の公共交通を補完する新たな交通サービス「江差マース」の導入検討を進めていたもの。</li> <li>●「江差マース」の実装化に向けては、小売事業者の立場として移動分野に対し問題意識をもっており、官民連携による新たな地域創生の形「江差モデル」の構築を図るため、令和元年度に包括連携協定を締結していたサツドラホールディングス株式会社との連携により、移動×経済による地域公共交通の維持・活性化だけでなく、地域経済の活性化をもたらす「収益循環モデル」を発案し、実証事業を令和3年度から展開。</li> </ul>
プロジェクトに関わった中で印象的な事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者を中心とする町内の交通弱者等をターゲットにスタートした中で、町民に馴染みのない予約型の乗り合い交通であるオンデマンド交通を理解を得られることが難しく、住民間での需要はあるものの、スマホや自動音声電話を利用した配車予約方法や移動可能な範囲などで住民から改善を求める意見が多く寄せられている。</li> <li>●運行业務を担っている交通事業者において、当初その取り組みに対して懐疑的な部分もあったが、町とサツドラとの連携実績、町内の現状を考慮した問題意識などから、実装化に向けた前向きな協力体制が築けている。</li> </ul>
自由記入欄	実装化に向けて、継続可能な業務体制や採算性などの部分で課題は見受けられるものの、住民からの期待度は高く、町としても実装化に向けた協議を本格化する考えであることから、来年度以降においても引き続き国からのご支援をお願いしたい。